

患者様へ

研究へのご協力をお願い

当院では下記の研究を実施しております。ご不明な点がございましたら、お問い合わせ先までご連絡いただきます様お願いいたします。

1. 研究課題名

抗うつ薬の併用薬に関する調査

2. 研究の意義と目的

うつ病の治療などに用いられる、眠れない症状を改善する睡眠薬や、不安な気持ちを落ち着かせる抗不安薬といった薬の多くが、ベンゾジアゼピン受容体作動薬という種類に属します。しかし、これらの薬を長く服用し続けることで、その薬を服用したいと強く感じたり、副作用が生じたりすることがあります。厚生労働省から出されている資料※では、使用を短期にとどめることが重要とされています。そこで、当院で使用されている抗うつ薬の併用薬に関する実態を調査したいと考えています。この研究を行うことにより、当院での使用状況が明らかになり、今後のうつ病の治療をより良くできるものと考えています。

3. 研究の対象と研究方法

本研究では、すでに処方されている処方データを使用するため、患者様に新たにご負担いただくことは一切ありません。対象となる患者様の処方データは、当院で2020年1月1日～2022年12月31日の間に、抗うつ薬（トリンテリックス、サインバルタ、レクサプロ、イフェクサー、リフレックス）が処方されている患者様のデータです。それらのデータのうち、抗うつ薬と、睡眠薬・抗不安薬（アルプラゾラム、クアゼパム、ニトラゼパム、フルニトラゼパム、プロチゾラム、ロラゼパム）のそれぞれの処方の有無、開始日および終了日を調査し分析します。抗うつ薬を、6か月以上処方されていない場合や、2種類以上処方されている場合のデータは、本研究で使用いたしません。

4. 研究実施期間

倫理委員会承認日～2023年12月16日

5. 倫理的配慮

本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、当院の倫理委員会の承認を得た上で実施いたします。また、本研究で使用する患者様の個人情報（お名前・患者番号）はすべて匿名化した上で使用するため、個人を特定されることはありません。研究成果は学会等で発表することがありますが、この場合も個人が特定されることはありません。本研究で得られたデータの保管・管理は、研究実施期間及び研究終了から5年間、研究責任者が厳重に保管します。本研究の対象となる患者様で、ご自身の情報は利用しないでほしいなどご要望がございましたら、大変お手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡ください。また、研究の参加を拒否されても、治療に影響することはなく患者様が不利益を受けることは一切ありません。

本研究は企業等から資金提供を受けて実施しているものではありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

- ・桶狭間病院藤田こころケアセンター クリニカルリサーチ室 電話 0562-97-1361（代表）
- ・研究責任者：助川 美月

本研究へのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。